

JA八千代市「准組合員モニターミーティング」開催



JA八千代市では、准組合員を「農業や地域経済の発展を農業者と共に支えるパートナー」に位置付け、ファーマーズマーケットの運営に活かし、持続可能な農業の確立、さらに当JAの運営にも寄与することを目的として企画しました。中でも、ファーマーズマーケット「よったいよ」は、生産者と地域住民を繋ぐ場所として重要な事業と考え、昨年6月に准組合員モニターを募集し、応募者の中から9名が選出されました。第1回のミーティングは、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、個

別にアンケート調査を行いました。10月20日に「第2回准組合員モニターミーティング」を開催し、モニター6名が参加。

当日は、葉物野菜農家の中台育夫さん夫妻の畑で収穫体験を行い、中台さんが野菜の種類や収穫時期、苦労や努力について語った後、ガイチョイなど中国野菜を収穫。次に、農事組合法人島田のライスセンターを見学し、その後、JA本店で常勤役員との意見交換を行いました。



▲参加者に丁寧に説明する中台さん夫妻



▲ライスセンターを見学



▲意見交換会の様子

秋冬ネギ販売会議・査定会



JA八千代市ネギ部会は10月28日、JA本店で秋冬ネギの販売会議・査定会を開催しました。

当日は部会員へJA全農ちば他関係機関、JA八千代市営農技術顧問から「ネギの情勢」、「秋冬ネギの安定生産のため（軟腐病と白絹病対策）」について「情報提供、JA担当職員からは「令和3年度販売実績」、「今年度の出荷計画」などについて説明が行われ、同部会では3万ケースの出荷を目指すこととしました。また、市場関係者による現品査定が行われ、ネギを手に取りながら出荷の際に注意する点を確認。部会員は最新の知識を得ると共に、部会内で共撰出荷規格の統一を図りました。



▲出荷規格を確認する部会員

肥料価格高騰対策事業説明会



11月8日、JA本店で肥料価格高騰対策事業説明会（補助金の申請について）を開催しました。

現在、世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、中国の輸出制限、ロシアのウクライナ侵略等の影響で、化学肥料原料の国際価格が大幅に高騰していることから、国は肥料価格上昇分の一部を支援することで、農業経営に及ぼす影響を緩和する対策を示しています。当JAでは、組合員の皆さまの負担軽減に少しでも繋げる為に補助金の受付を行っております。

なお、価格高騰対策事業補助金申請の受付は、肥料を購入した店舗ごとの申請となります。また、補助金申請は農業所得の申告をされている方となりますので、ご承知おきください。



▲説明会の様子

申請の
スケジュール

【春肥】令和4年11月1日～令和5年2月28日までに購入した肥料は、令和5年2月3日（変更の可能性あります）までにJA八千代市経済部へ書類をご提出ください。支援対象となる肥料・内容・申請に必要なもの・ご記入用紙など、本件に関するお問い合わせはJA八千代市経済部（047-459-8126）村山・石原 まで

※秋肥は受付終了しました。